

| 議 長 | 副議長 | 局 長 | 次 長 | 係 長 | 係 | 合 議 |
|-----|-----|-----|-----|-----|---|-----|
|     |     |     |     |     |   |     |

## 福 祉 環 境 調 査 会

平成 26 年 5 月 15 日(木)  
全 員 協 議 会 室  
10 時 00 分 ~ 11 時 50 分

【委 員】 芦谷委員長、田畑副委員長、足立委員、柳楽委員、道下委員、平石委員  
澁谷委員、西村委員

【議長・委員外議員】

原田議長、江角議員、笹田議員、小川議員、串崎議員、野藤議員  
岡本議員、牛尾昭議員

【執行部】 小澤健康福祉部長、杉本健康福祉部次長(地域福祉課長)

河上地域医療対策課長、中田高齢障がい課長、大島子育て支援課長  
川崎市民生活部長、久保田市民生活部次長(医療保険課長)

村瀧総合窓口課長、原田環境課長

山本上下水道部長、古城上下水道部次長(管理課長)、岸本工務課長  
坂田下水道課長

吉永金城支所長、山田市民福祉課長

岩谷旭支所長、渡邊市民福祉課長

田中弥栄支所長、長見市民福祉課長

横田三隅支所長、大田市民福祉課長

【事務局】 外浦書記

### 議 題

1 執行部報告事項

- (1) 平成 27 年度国県重点要望事項
- (2) 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について
- (3) ラ・ペアーレ浜田の運営状況等について
- (4) 平成 26 年度 市内医療・看護関係各種学校の入学生の状況
- (5) 浜田市の高齢者の状況等
- (6) 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果
- (7) 浜田市の未就学児童の状況について
- (8) 5 歳児健診について
- (9) その他

配布：子育て支援ガイド

2 その他

- ・平成 26 年度福祉環境委員会行政視察について
- ・要望第 4 号 介護福祉事業における外国人研修生受入れモデル事業について  
(要望書のため配付のみ)

【議事等の経過】

[ 10時00分 開議 ]

芦谷委員長

ただいまから福祉環境調査会を始めたいと思います。この4月に異動があり、新しく赴任された部長課長がおられますので、順次職種名を紹介しますのでご挨拶をお願いしたいと思います。

( 以下、職員挨拶 )

どうぞよろしく申し上げます。ありがとうございました。ここで議題に関連の無い課長さんについては退席されて結構です。それではレジュメに沿って議題に入ります。

1. 執行部報告事項

(1) 平成27年度国県重点要望事項

地域医療対策課長

平成27年度国県重点要望事項についてお願いします。地域医療対策課長。

( 以下、資料をもとに説明 )

芦谷委員長

続いて上下水道部管理課長。

上下水道部管理課長

( 以下、資料をもとに説明 )

芦谷委員長

委員から質問はありますか。道下委員。

道下委員

医師看護師等医療従事者確保対策の説明をいただきました。この中に、下の方に書いてある「このような中、島根県におかれましても地域医療支援センターの法人化を実現され、オール島根で」というふうになっていますが、これは最近のことでしょうか。

地域医療対策課長

これは昨年度から法人化され、今は島根大学医学部の中に未来塔という塔が去年建築され、その中に入っています。この中で大学を卒業した医師が島根県で働いていただけるように、また、外へ出ることがないように皆で育てていこうというような支援をやっていきます。個々に県や医師会や市町村、全てが参画団体となって法人化を実現させたところであり、オール島根で頑張ろうとやっているものです。

道下委員

昨年4月から法人化が始まったということで、医師、医療従事者対策ということをされていると。成果というものはある程度上がっているのか、是非伺います。

地域医療対策課長

24年度は20人の地域卒推薦や、奨学金を借りている学生に対して、11人、55パーセントが県内に留まっていますが、25年度は24

人に対して 55 人、63 パーセントの学生が県内に留まりました。これも一例だが、こういった形できめ細かい支援をしながら、県内に定着していただくように努力を続けておられます。

道下委員

目標というものがあればお聞かせいただきたいと思います。

地域医療対策課長

浜田市ではなく、センターの目標ということでしょうか。

道下委員

はい。

地域医療対策課長

それはちょっと、今は資料を置いておりませんが・・・。

健康福祉部長

課長から説明しましたように、オール島根でこのセンターで取り組みを進めておられます。研修医、奨学金を受けている医学生の方にまず、島根県に残ってもらおうと、職研修を島根県で実施してもらおうという取り組みを重点的に行っています。そのためには魅力ある研修プログラムを提供することによって残ってもらおうと。先程数字で説明がありましたように、55 パーセントだったものが 63 パーセントになったということで、これは、僅かではないかと思われるかもしれませんが、先生方は都会地志向が強かったりするのでなかなか島根県に残ってもらえない事情がある中で、非常に努力されてこの数パーセント上がったという取り組みなんです。それと併せて、目標は高く、100 パーセントを目指して、島根県で地域枠推薦または奨学金を受けた医学生に対しては 100 パーセント残っていただきたいということで、そういう思いを持って研修の実施地として島根県を選んでもらおうという取り組みを、魅力的な研修のプログラムを作成すること、そして、きめ細かに、島根県の研修を実施する病院の魅力を PR したいということです。学生に対してきめ細かなアプローチをしている状況。25 年度に他の対策としては、赤ひげバンクの登録者数を増やすということ。これは、登録してもらってマッチングさせるというようなことだと思います。そして医師の面談の実績ということで、非常にきめ細かく医師の面談を実施しておられます。そして地域医療の視察ツアーを実施して、現状の医療がどんなことを取り組んでいるかというところをしっかりと見てもらおうという取り組み。そして確保実績ということで、それぞれ圏域のところで医師確保が出来たということで、26 年 2 月末現在では 25 年度の実績として、松江・雲南・出雲・浜田の圏域で、4 人の、これは研修生ということではなく医師確保が出来たという実績がある。そういったことでオール島根で現在センターを中心に医師確保

道下委員

に取り組んでいます。

医療センターを核とした浜田地域においても、医師確保、それから医療従事者、一番核となる大きな要望になるのではないかと思いますので質問をしました。この点について、もっと力を入れて欲しいんです。地域連携体制も含めて、頑張ってもらいたいです。

芦谷委員長

他にありますか。

(「なし」という声あり。)

無いようなので次へうつります。

## (2) 臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について

臨時福祉給付金・子育て世帯臨時特例給付金について、地域福祉課長。

地域福祉課長

(以下、資料により説明)

芦谷委員長

委員から質問はありますか。

(「なし」という声あり)

無いようなので次へうつります。

## (3) ラ・ペアーレ浜田の運営状況等について

ラ・ペアーレ浜田の運営状況等について、地域福祉課長。

地域福祉課長

(以下、資料により説明)

芦谷委員長

委員から質問はありますか。道下委員。

道下委員

利用者が増える、それに伴って利用料も増えているということで、非常に結構です。利用者の年齢層は把握されているんですか。例えば後期高齢者が増えているとか、65歳の高齢者は一緒だとか。

地域福祉課長

細かい資料は持ち合わせていないですが、去年の状況で見ると、半年間のフリーパスポートを利用する方が増えたと聞いています。プールやジムは、各年代の方に広く使われていると伺っています。

道下委員

もう1点。シンコウスポーツさんだったか、新しく入られたわけですが、その効果をもっと詳しく教えてください。

地域福祉課長

この2つの共同体、北陽ビルさんをご存知だと思います。松江の会社でビルメンテナンスをやっておられます。東公園やサンマリン浜田の指定管理も受けておられます。もう1つのシンコウスポーツさんは東京に本社があり、主に公共スポーツ施設のマネジメント、プール管理、水泳指導、トレーニングルームといったことをやって

おられますが、それと大きくあるのが健康運動指導業務ということで、介護予防であるとか生活習慣病予防といった事業内容もやっておられます。先程ちょっと言った講習会というのは、介護予防運動指導員養成講習会というのがあり、これが5日間の講習を受けて修了試験に合格すると介護予防運動指導員として認定されるというもので、これもすごく受講があったと伺っています。こういったところも指定管理の独自の特色を活かした事業であると思っています。

芦谷委員長

他に。

( 「なし」という声あり )

無いようなので次へうつります。

#### (4) 平成 26 年度 市内医療・看護関係各種学校の入学生の状況

平成 26 年度 市内医療・看護関係各種学校の入学生の状況について、地域医療対策課長。

地域医療対策課長

( 以下、資料をもとに説明 )

芦谷委員長

委員から質問はありますか。西村委員。

西村委員

リハビリテーションカレッジについて聞きます。説明もあったし入学者数の内訳もあります。浜田が激減して代わりに山口県が増えたということで何とか 61 名に留まったという状況だと思います。山口県からが増えた理由についてはおっしゃったので、そうかなと思います。浜田が激減した理由についてはどのようにお考えになっていますか。それから、3月定例会の予算委員会で財政計画をもう一度示すべきではないかということで、示すとご返答いただいたと思います。順調に伸びていた入学者数がここにきて減っていることも踏まえて、私個人的には危機感を感じています。そういうことで、いつ頃財政計画、シミュレーションあたりが提示されるのか。あるいはそれを裏付ける施策の展開をどのようにしていくのか、というようなことを、学校はどういった計画をされているのか。確認をしておきたいと思います。

地域医療対策課長

最初の浜田市が減った要因ですが、例えば浜田市内の高校から、既卒者も含めてですが、昨年度は 13 人の入学生があったのが、今年は 7 名であったとか、益田・江津も近隣ですが、浜田の住所があって学校が江津だったというケースがあると思いますが、江津にしても 4 人が 1 人になっているし、益田についても益田の高校から 9

名ぐらいいたのが今回は6名であったとかいうことで、近隣の高校からの入学者数が減っています。これについては、来週から浜田と江津の高校については、市の本庁の健康福祉部で学校訪問をさせていただき、三隅支所で益田・津和野方面の学校訪問等をして、その辺を進路指導部の先生方と色んな話をしていきたいと思っています。2点目については、丁度今の時期に25年度の学校側の決算というものをされるそうで、それを見据えて決算がきちんと出て監査も受けた状況で、今年度の入学者数が目標80人だったところが61人で、その辺もシミュレーションを変えて、きちんとしたものが5月中には出ると聞いているので、6月議会中の委員会で報告させていただこうと思って準備をしています。

西村委員

浜田市が21人から9人という、激減と言って良いくらい減っているわけで、その辺りの、昨年度の学校中心とした高等学校への働きかけが、どのような変化があったのか。同じようにやったけれどもそういう結果になったのか。その辺の分析は学校に特に求めていただきたいと思います。これは答弁はいりません。

芦谷委員長

他にありますか。澁谷委員。

澁谷委員

リハビリテーションカレッジ島根ですが、定員が各学科40人で120人で61人となると、充足率を考えて、これで経営が成り立つのかなというのが素朴な疑問です。経営の損益分岐点はどのように把握されているのでしょうか。

地域医療対策課長

今のところ、損益と言うか24年度までの実績を踏まえて、その後25年度70人、26年度以降80人をクリア出来れば見通しがあるということで聞いていましたが、それが今ちょっと難しい状況なので、その辺を踏まえて、今もう一度経営シミュレーションのやり直しを、5月中に行ってもらおうよう要請しています。

澁谷委員

分かりにくいのは、53、55、65、61というような、このぐらい低レベルの入学者になっているということは、要するに他の競合している内容の学校に比べて、競争の激しさの中で、魅力が少ないからで。その中の1つは、素朴に考えた場合に授業料を値下げするか、値下げしても人が多い方がまだ良いとか、入っていただいて全体のトータルで押し上げていくとか、それに伴って地域のアパートとかの空室が埋まっていくとか、その方の生活費とか、保護者が仕送りしたり、奨学金を貰ったりすることで消費が発生するわけです。

から、そうしてトータル的にどういう存在でやっていくかという。ビジョンが見えないままにこのぐらいの数字が推移していった場合、どう考えても経営は出来ないなと思うのです。その辺はもう、リハビリテーションに任せ切って良いのかと疑問に思うんです。何故なら入学金の補助を出したり、税金で色々補助しているわけで、ある程度行政も関わっていく責任があると思うんですが、そういった財政計画とか計画が出るまで待つとか、待ちの姿勢で良いのかと素朴に思うのです。どういう関わり方、経営とか相談とか連携とか、どういう状況なのかももう少し詳しく教えていただけないでしょうか。

地域医療対策課長

これについては、全体の調整は健康福祉部でやっており、日頃のきめ細かなリハカレとのやりとりについては、三隅支所が本気になってやっております。両方で常にリハカレと関わりを持ちながらやっています。

澁谷委員

やはりもう少し入学者が増える努力と言うか、授業料を値下げする。そのためには三隅の地域振興基金を使ってでもという、極端な言い方かもしれませんが、何かないと、ずっとこのまま行って、まちづくりの魅力のあるまちのあるところに、あそこにはアルバイトするところもあるとか、休日を過ごすまちづくりが進んでいるとかいう、都市間競争の中で、益々競争に負けていくと思うので、もう少し踏み込んだ検討をすべきではないかと思うので、ご検討をよろしくお願いします。答弁はいりません。

芦谷委員長

他にありませんか。道下委員。

道下委員

医療センターの看護学校のことについてです。24年度51名となっていますが、これは定員オーバーでも受け付けるというスタイルですか。

地域医療対策課長

だいたいどこの学校も、私もパーセンテージは分かりませんが、約1割くらいは多めに合格者を出して調整をされていると聞いてはいますが、たまたまこの年は調整を上回る入学者数があったのは確かです。特に問題はないと医療センターからは聞いてはいます。

道下委員

このたび37名で、非常にショックなんです。40名定員で37名の入学生。受験者は100人、合格者が87人、辞退が50名されて他の所に行かれたわけです。こういうようなことが去年もあったのか、これからも続くと予想されているのか。どこかで歯止めをかけようとされているのか。これだけの入学者、37人の定員割れというの

がすごく気に食わないわけです。その辺をどう考えているのかお聞きします。

地域医療対策課長

昨年度の辞退者も 50 人まではいきませんでしたがありました。辞退者については、私も学校の職員ではないのではっきりとは申せませんが、なかなか読めないと思います。自分の子どもにしても何校も受けるし、普通大学にしても何校も受けて、それでどこに行くかというのはその生徒の意思で行くので、なかなか…。もしそうになると全部を推薦なり何かにして押さえるしかないです。受験の自由を奪うことになるので、この辺は読めないとは思いますが、辞退者を増やさないためにも学校としても、先程も言ったように、市を上げて浜田市が魅力あるところだということをアピールしていくとか、そういったことになると思います。あとは先程から言うように、学校訪問等をして地元で頑張ってもらいたいというようなことを、やっていこうと思っています。

道下委員

このことはもっと具にしらべていただいて、その辺の入学者が増えるよう、定員割れが無いようにやっていただきたいと思います。男性の看護師さんが増えている傾向があるんですか。

地域医療対策課長

今年も 7 名ですが、毎年 5 名から 7 名くらいの男子学生も入っています。今医療センターの中にも、人数は分かりませんがかなりの男性看護師がいて、活躍していると聞いています。

芦谷委員長

他にありますか。

( 「なし」という声あり )

無いようなので次へうつります。

## (5) 浜田市の高齢者の状況等

高齢障がい課長

浜田市の高齢者の状況等について、高齢障がい課長。  
( 以下、資料をもとに説明 )

芦谷委員長

委員から質問はありますか。澁谷委員。

澁谷委員

皆さんご存知だと思いますが、高齢者世帯構成員数とその他世帯構成員数というのは、どういう理解をすれば良いのでしょうか。

高齢障がい課長

高齢者構成員数の数値は 65 歳以上のみで構成されている世帯の合計人数、65 歳以上の人だけで 2 人とか 3 人とかいう世帯の人数です。その他の方というのは、64 歳以下の人も含んだ世帯に属する 65 歳以上の人的人数です。この 3 つを足すと 1 万 9 千 243 人に

なるということです。

澁谷委員 独居世帯のサスケとかあると思います。安心安全、確認の。あれは素晴らしい仕組みだと思っているんですが、それはこの独居世帯全部にそういうふうになっているのか、現状を説明していただけませんかでしょうか。

高齢障がい課長 申し訳ありません。サスケの普及数は今手元にありません。当然、全部の配布ではありません。申請に基づいて配置しているので、すみません数値は今分かりません。

澁谷委員 また教えてください。

芦谷委員長 他にありますか。  
( 「なし」という声あり )  
無いようなので次へうつります。

#### (6) 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果

子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査結果について、子育て支援課長。

子育て支援課長 ( 以下、資料をもとに説明 )

芦谷委員長 委員から質問はありませんか。澁谷委員。

澁谷委員 6 ページで聞き漏らしたんですが。「学校生活が楽しくない」が 12.1 パーセントで、その後に「勉強が嫌い」44.3 パーセントという課長の説明があったと思いますが、これは 12.1 パーセントのうち、勉強が嫌いという理由で楽しくないという人が 44.3 パーセントということでしょうか。

子育て支援課長 「学校生活で困ったこと・嫌なこと」を尋ねたところ、勉強に関することが 1 番嫌なこととか困ったことだと回答されたのが 44.3 パーセントあるということです。

澁谷委員 それでは「学校生活が楽しくない」「どちらかと言えば楽しくない」の 12.1 パーセント、1 割を超えている理由は、現時点でどのようにつかんでおられるのでしょうか。

子育て支援課長 もちろん勉強のこともありますが、学校が楽しくないという回答をされた方で、家庭での問題がある子どもさん、例えば親との会話が無いだとか、食事をあまり一緒に摂っていないとか、そういった子どもさんの割合が高くなっているように思います。ですから学校生活だけでなく、それに付随する家庭生活の面が学校も面白くない

という感覚を持っているのではないかと思います。

芦谷委員長

他にありませんか。平石委員。

平石委員

放課後児童クラブについてお尋ねします。制度的には一時預かりという制度は無いのではないかと考えているが、このニーズ調査の中で、一時預かりをしてもらいたいとか、そういった声が上がっていたとかということはないでしょうか。

子育て支援課長

一時預かりというのは、児童クラブでの一時預かりでしょうか。

平石委員

児童クラブに登録してないけど、何らかの理由で預けたいという。

子育て支援課長

申し訳ないが質問項目の中にそういった質問をしていないので、その辺は把握出来ていないです。

平石委員

そういった声が、やはりあるんです。今後こういった質問をされる場合には、そういう質問もしてもらいたいです。色んな声を取り上げてもらって今後の施策に繋げていってもらいたいんです。実際のところ、そういう相談がたまたまあって、結局そういうのも受け付けられないということで、その方は結局、今年度入学する子も結局、お兄ちゃんたちが受け入れられないということで、入ること自体を止めたという話もあったようなんです。また色々と調査してもらいたいです。

子育て支援課長

わかりました。そういったニーズ等も機会に把握させていただければと思う。また児童クラブは、委員さんもご存知のように、両親共働きとか、子どもを看られない状況の方が入られるものなので、もしそういうのが年度の中で起きた場合でも受け付けはしています。ただ、短期間というのはなかなか原則的には受けていないのですが、全くゼロではないので。一応、今月入りたい、翌月止めます、であってもそれは受け付けはさせていただきます。ただ、その分来られない日があっても負担金をいただくのでそこはご了解いただきたいと思います。

芦谷委員長

他にありますか。道下委員。

道下委員

6 ページ(1)、浜田に戻って暮らしたいというのが両方合わせて34.1 パーセント、これの推移というのは把握されていますか。今までの時系列というか、去年に比して上がっているとか落ちているとか。

子育て支援課長

申し訳ありませんが、昨年11月に実施したデータしか今はありません。

道下委員

また分かったら教えてもらいたいです。非常に気になっています。  
( 「なし」という声あり )

芦谷委員長

ここで暫時休憩します。再開は 11 時 25 分とする。

[ 11 時 20 分 休憩 ]

[ 11 時 25 分 再開 ]

### (7) 浜田市の未就学児童の状況について

芦谷委員長

会議を再開します。浜田市の未就学児童の状況について、子育て支援課長。

子育て支援課長

( 以下、資料をもとに説明 )

芦谷委員長

委員から質問はありますか。西村委員。

西村委員

保育士の確保と、待機児童の関係で教えて欲しいんです。過去の答弁等によると、法人への財政的な支援で保育士の増員に努めた結果、24 年度は確か 32 人保育士を増やして、その結果ゼロ歳児の受け入れが 22 人進んだということがあったんですが、それと同じ項目で、25 年度がどうだったのか、把握されていればお聞きします。

子育て支援課長

待機児童対策については 25 年度から実施しています。

西村委員

分かりました。それでは 4 月 1 日が過ぎたわけですが、待機児童はこの時点では発生していないと思いますが、あとどれだけの余力というか、受け入れが可能かということは把握されていますか。

芦谷委員長

資料を探していただいて、その間に他にありますか。

( 「なし」という声あり )

それではお待ちします。子育て支援課長。

子育て支援課長

4 月現在で待機児童は発生していませんが、転園希望等の方がおられて、これが 14 名待っておられます。自分の希望する保育園に入れないので、希望した保育園に入りたいという方が 14 名いらっしゃいます。これについては、現在保育所に入っておられるので、待機児童にはカウントされないが、そういった状況もあります。4 月に、昨年度から始まった入所受け入れ促進事業の補助金の関係で、把握しているのが、昨年度は 14 保育所で、この促進事業の対象となりましたが、今年度は 20 園がその対象となり、ゼロ歳児の受け入れを進めてもらっています。それから 5 月についても同様に 20 園が余剰保育所を確保して入所の受け入れが出来たところでありま

す。なので事業としては着実に進んでおりまして、まだ今の状況でいきますと同じぐらいの保育所が6月以降も受け入れが、当面は出来る状況だと把握しています。

芦谷委員長

他に無いようなので次へうつります。

### (8) 5歳児健診について

子育て支援課長

5歳児健診について、子育て支援課長。

芦谷委員長

( 以下、資料をもとに説明 )

平石委員

委員から質問はありますか。平石委員。

今言われたとおりだと思いますが、この記事の内容ではなく今やっていることは5歳児検診に近いもので、色んなものでクリア出来ているという判断で、当時の一般質問で理解していましたが、それで良いということですか。

子育て支援課長

はい。

芦谷委員長

他にありますか。

( 「なし」という声あり )

無いようなので次へうつります。

### (9) その他

子育て支援課長

その他、配布物で「子育て支援ガイド」について、子育て支援課長。

( 以下、資料により説明 )

今これはコピーでお渡していますが、(正規のものは)印刷を発注する準備をしています。出来あがり次第、保育所や幼稚園、小児科、産婦人科といった医療機関に配布して、市民の皆様に利用していただけるようにしたいと思っています。印刷が出来あがると年度中は修正が難しいんですが、ホームページ上のデータは出来るだけ最新のものに更新していきたいと思っています。

芦谷委員長

委員から質問はありますか。平石委員。

平石委員

これはいつぐらいに配布予定ですか。

子育て支援課長

印刷会社にデータを渡して、印刷が出来あがるのに1週間程度ということですので、6月に入れば配布したいと思っています。

芦谷委員長

他にありますか。

( 「なし」という声あり )

無いようなので次へうつります。

## 2. その他

芦谷委員長  
高齢障がい課長

その他についてありますか。高齢障がい課長。

先程お答え出来なかったサスケの設置台数について、4月末現在で273台です。ここ数年、毎月数台ずつ入れ替えはありますが、ほぼ同じぐらいの推移です。

芦谷委員長  
環境課長

他にありますか。環境課長。

現在、浜田市環境課では「元気な浜田」3つの重点施策のロードマップに掲げられている市政運営に係る重要事項である、ごみ袋の簡素化について検討を行っています。現在の状況と今後のスケジュールについてご報告させていただきます。第1回浜田市環境清掃対策審議会を4月25日に開催しています。浜田市指定ごみ袋の簡素化について諮問ということで行っています。審議会は、委員さん10名で、識見者5名、各自治区選出の受益者代表5名で構成している。その会長には島根県立大学総合政策企画部のオキムラタダシ教授、副会長には浜田市食生活改善推進協議会会長のミヤモトミホコ様です。主旨の要旨は、浜田市の指定ごみ袋を簡素化するにあたり意見をいただきたいということです。諮問理由は、本市の指定ごみ袋は、ごみの減量、ごみ処理コストの低減、および循環型社会構築のため、意識啓発を目的として、現在家庭用5種13サイズ、事業所用3種3サイズに細分化しています。この決定にあたっては当時の浜田市環境清掃対策審議会からの答申を大いに参考にし、ごみの分別について理解、定着、ごみの減量において一定の成果を上げてまいりました。またその一方で市民からは、ごみ袋の種類が非常に多いということ、また在庫を多く抱えざるを得ない、また保管スペースの確保に苦慮といった理由があり、また経済的にも負担が大きくなっているとの意見が寄せられているのも事実です。市民の負担軽減と市民サービス向上のため、本市はごみ袋の価格は維持しつつ、かつ分別意識の低下を招かないような方策をもって、指定ごみ袋の簡素化を実施する方針です。ごみ袋の適切な種類およびサイズについてご審議をお願いしています。今後の審議会の予定は、5月23日には第2回の審議会を開催します。また6月下旬には第3回の審議会を開催し、最終答申案の最終調整を行いたいと思っています。

す。また6月末からはパブリックコメントを募集して、7月末までの期間で実施したいと思っています。7月下旬にはそのパブリックコメントの取りまとめ、第4回の浜田市環境清掃対策審議会の答申をいただき、概ね8月下旬には市議会の9月定例議会へ向けて、条例改正案、補正予算案を上程したいと思っています。今後浜田市環境清掃対策審議会の答申を踏まえて、浜田市の指定ごみ袋簡素化を進めてまいりますので、引き続きご審議の方、よろしくお願い致します。

芦谷委員長

今の件について委員から質疑はありますか。

( 「なし」という声あり )

それでは続いて、子育て支援課長。

子育て支援課長

昨年度K F Gから浜田市の子どもの出生お祝いという形で、赤ちゃんのイオン水を寄贈いただきました。今年度もまた500ケース引き続き寄贈いただけることになったのでご報告します。

芦谷委員長

何かありますか。

( 「なし」という声あり )

#### ・要望第4号 介護福祉事業における外国人研修生受入れモデル事業について

無いようなので2点目のうち、1点だけ説明します。

介護福祉事業における外国人研修生受け入れモデル事業については、過日、要望者来庁の上、議長に対して要望書の提出がありました。これは今日の調査会では配布に留めますが、執行部もおられますので、敢えてこの点について質問があればお受けしたいと思えます。西村委員。

西村委員

これを読むと、浜田市と愛心会の協議経過記録というものも付いているので、市にも同じような要望書が出されたということですか。それとも議長だけですか。

芦谷委員長

高齢障がい課長。

高齢障がい課長

3月20日に同じ要望書という形で要望があり、市長において陳情等の処理ということが終了しています。

芦谷委員長

他にありますか。

( 「なし」という声あり )

無いようなので、執行部に関連する議題は終わりました。これで執行部の方は退席されて結構です。お疲れ様でした。

・平成 26 年度福祉環境委員会行政視察について

田畑副委員長

続いて行政視察について幹事から説明をお願いします。

行政視察について、委員の皆さんのお手元に資料があるかと思えます。この資料については、4 月 25 日の全員協議会が終了した時点で、委員の皆さんには既にお話しており、行政視察の日程については既に決定しています。視察内容について、一部変更があったので、委員の皆さんにお知らせするものです。北杜市、遠野市、八戸市における視察項目を記載しておりますので熟読の上、視察に向かっていたいと考えていますのでよろしくお願いします。

芦谷委員長

委員から質問はありますか。

( 「集合が6時から5時半に変わったんですね」という声あり )

田畑副委員長

それと以前、下の視察項目を付けていなかったから、今回付けております。

芦谷委員長

その他質問はありますか。

( 「なし」という声あり )

ないようですので福祉環境調査会を終了します。ありがとうございました。

[ 11 時 50 分 閉議 ]

浜田市議会調査会規程第 6 条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

福祉環境委員長 芦 谷 英 夫